

平成28年度 租税教育実績報告書



日向市立富島中学校

別添 1

(様式第 3 号)

平成 28 年度 租税教育事業実績報告書

委 嘱 校 名	日 向 市 立 富 島 中 学 校
所 在 地	〒 8 8 3 - 0 0 6 2 電話 番 号 0 9 8 2 - 5 2 - 4 7 5 4 日 向 市 大 字 日 知 屋 8 2 7 2 番 地 2
ふ り が な 校 長 名	くろき ひろみつ 黒 木 広 充
ふ り が な 担 当 教 諭 名	まつした こうじ 松 下 浩 司
<p>1 租税教育の成果</p> <ul style="list-style-type: none">○ 租税教育 1 年目ということで、税に対する関心を持つことをねらいとして 1 年間取り組んできた。社会科の授業では租税教育を意識して内容を深めることができた。特に力を入れて取り組んだ学習内容は次の通りである。<ul style="list-style-type: none">1 年…奈良時代の人々の暮らし2 年…維新の三大改革3 年…政府の経済活動と租税○ 租税教室において、延岡税務署の方から専門的な立場で話を聞くことができ、租税の基礎的な内容が具体的に理解できた。 <p>2 租税教育についての反省</p> <ul style="list-style-type: none">○ 生徒の租税に対する関心は高まったようであるが、基礎的知識の定着までには至らなかった。○ 社会科以外の教科に対して関連づけた取組を実践することができなかった。 <p>3 租税教育についての今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none">○ 来年度も租税教育を継続していくためには、そのための時間を年間計画にしっかり位置づける必要がある。○ 租税教育に必要な資料収集に努め、それを授業の場で効果的に活用できるように工夫していきたい。	

租 税 教 育 事 業 実 績

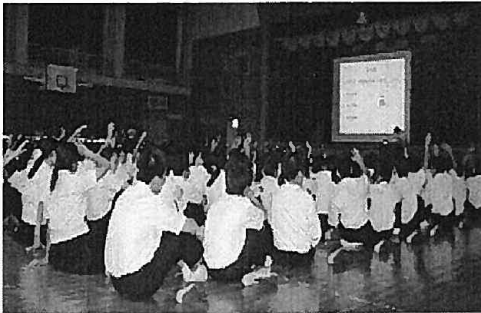
実施年月日	事 項	内 容
28年 4月 6日	租税教育委嘱状交付	○ 延岡税務署長が来校し、委嘱状の交付式を行う。
28年 4月 22日	年間計画作成、提出	○ 年間計画を作成し、提出する。
28年 5月 27日	租税教育委嘱校校長・担当教諭会	○ 租税教育委嘱校校長・担当教諭会に出席する。
28年 7月 8日	第1回租税教室	○ 延岡税務署より講師を招いて全校生徒を対象とした租税教育を実施した。 講師：延岡税務署 管理運営第2部門 東條 達朗氏
28年 7月 21日	租税作品募集	○ 夏休みの課題として、全校生徒を対象に作文を募集する。
28年 8月 26日	租税作品審査	○ 「税についての作文」の校内審査を行う。
28年 9月 5日	租税作品提出	○ 優秀作品（8編）を提出する。
28年12月 8日	第2回租税教室	○ 延岡税務署より講師を招いて3年生を対象とした租税教育を実施した。 講師：延岡税務署 総務課 庁舎管理係 川崎 修平 氏
28年12月13日	租税作品表彰	○ 「税についての作文」の表彰を行う。
29年 1月 20日	年間活動のまとめ 次年度の年間計画立案	○ 租税教育の成果・今後の課題等をまとめ、来年度の年間計画の立案を行う。
29年 3月 15日	実績報告書の作成	○ 実施報告書を作成する。

① 全校生徒を対象にした租税教育

行事名	第1回租税教室	分類・時数	社会科 50分
期 日	平成28年7月8日(金)	場 所	体育館
担 当 者	租税教育担当(松下)	参 加 者	全校生徒及び全職員
時 間 帯	6校時(14:55~15:45)	経 費 等	
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 租税に対する理解を深め、民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養わせる。 ○ 延岡税務署職員の講話を聞くことで、興味・関心を高めさせるとともに、地域社会への啓発活動等に役立たせる。 		
	内 容	留 意 事 項	
事前指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の社会科担当が、授業を通して各学級に目的を話しておく。 ○ 当日の朝の会を通して、再度学級担任から目的を簡単に話しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講師の依頼は租税教育担当が行う。 	
実施計画	<p>1 講師紹介 延岡税務署 管理運営第2部門 東條 達朗(とうじょう たつろう)氏 担当: 松下</p> <p>2 税についての講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 私たちと税のかかわり(10分) ○ 税金の集まり方と税務署の仕事(15分) ○ 租税に関するエピソード(10分) ○ まとめ(5分) <p>3 「税についての作文」の説明(10分)</p> <p>4 お礼の言葉 全校学習委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 5校時終了後に各教室から移動し、体育館でチャイム黙想を行う。 ○ 講話をしっかりとした態度で聞くことができるように指導する。 ○ 日本の租税の現状や必要性について具体的な資料に基づいて理解させる。(社会科との関連) ○ 税務署の仕事内容を知ること、職業に関する興味を高めさせる。(キャリア教育との関連) ○ 租税作品応募に関する説明を聞き、今後の作品制作の意欲づけとする。 ○ 時間の関係上、お礼の言葉は簡略化したものとする。 	
事後指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級または社会の授業において感想を書かせる。(感想用紙は担当が準備) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感想には学んだことをどのように今後の学校生活に生かしていくのかも書かせる。 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施後、延岡税務署に感想を発送する。発送は租税教育担当が行う。 ○ 進行・講師紹介 松下 ○ 事前準備(プロジェクター、スクリーン、マイク) 社会科職員 		

※ 世界のユニークな税、日本の税の種類、所得税のしくみ等をスクリーン形式で説明してもらい、クイズを入れることによって生徒の興味も高まった。また、キャリア教育との関連を意識し、税務署の仕事についても具体的に説明してもらった。

(授業の様子)



(生徒の感想)

租税教室を終えて

延岡税務署の方に来ていただき、今日は多くのことを学びました。今回の租税教室を終えて、学んだことや興味を持ったこと、これからの生活にかかしていきたいことを書きましょう。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

()年 ()組 ()番 名前 ()

【一部抜粋】

- 世界にはポテチ税や犬税、バター税などが、日本には約50種類の税金があるということを教えてもらいました。また、その税金の仕組み、もし税金がなくなったらこの社会はどうか詳しく説明してもらいました。改めて税金のことを考えられました。
- 税金は私たちの生活にとっても必要だということがわかりました。私たちが消費税を納めているので、税のことを知ることができよかったです。大人になったら所得税なども入ってくるので良い学習になったと思います。でも、最近政治家が無駄遣いしていることをよく耳にするので、しっかり国のために使ってほしいです。
- 私はよくニュースで言われている「税」しか知りませんでした。50種類の税があると知り多すぎるんじゃないかと思いましたが、このたくさんの税が日本を支えていると知ると、とても大切だと思いました。今はまだ中学生なので払い始めるのは少し先ですが、今から知っておくととても便利だと思いました。
- 話を聞いて、いろいろな税があるんだなと思いました。50種類以上ありびっくりしました。犬税やポテチ税などおもしろい税もあるんだなと思いました。まったく税のことはわかりませんでした。でも、クイズでわかりやすく出してくれ、少し税のことがわかり税がないと生活がくずれるんだなと思いました。
- 私は税金について全然興味がなかったけど、今日の話で税金を払わないと学校に行けないとか消防車が来ないなどあってびっくりしました。また、税金には約50種類以上あって知らない名前もたくさんあったので、税金を払う側としてちゃんと知っておかないといけないなと思いました。
- 私はあまり税金のことは知らなかったのですが、物などを買っていること自体、税金と関わっているんだなと思いました。また、クイズであったポテチ税や犬税が実在することに驚きました。また払う税金をプロデューサーの方において考えたものがわかりやすかったです。今回の租税教室で税金というものを身近に捉え生活していきたいです。ありがとうございました。
- 租税教室を終えて、税を納めるということは自分たちの生活の中でとても重要なことがわかりました。また、ギャンブルやたばこなどあまり広がってほしくないものに税をかけるというのに驚きました。いろいろな税の種類がわかったり、税の役割など知れて良かったです。
- 今回の租税教室で税金を納めることの大切さを学びました。例えば税金を納めなければ、火事や泥棒に入られたときなどに消防車やパトカーが家に来ない、ということを知りました。また、日本の税金の種類が50種類以上だということに驚きました。今日のこの租税教室でいろいろ学ぶことができたので、それをこれからの生活で活かしていきたいです。
- 税金は物を買ったりするときにお金が高くなり、嫌なものだと今まで思っていたけれど、税金がなくなると道路がなくなったり、消防車や救急車などがはたらかなかったり、公園がなくなったり、学校がなくなったり、とても大変になることがわかりました。
- 私は租税についてあまり知らないことがたくさんありました。でも今日の教室で、税にはたくさんの種類があり、絶対に納めなくてはいけないものだと知りました。税金を納めないと消防署や警察署、ごみ収集車などたくさん大変なことがあることを知りました。今日のことは絶対に覚えておきたいです。
- 私は税金に50も種類があるなんて知りませんでした。知らないうちにいろいろな税金を払っているんだろうなと思いました。正直言うと、消費税などの税金を納めるのは面倒くさいと思っていましたが、税金のおかげで安全に過ごしていることを知り、とても大切なんだと実感しました。これから税金を納める機会は増えると思うけど、しっかりと納めていきたいと思いました。

- 今回の租税教室では税のことについてくわしく知ることができました。自分たちも消費税という税を納めています。それがどんなに大切なことわかりました。これから税がとても関わる時期になります。今回の教室をいかしていきたいです。

② 3年生を対象にした租税教育

行事名	租税教育指定校・3年：社会科授業	日時	平成28年 12月 8日(木)
場所	富島中学校・管理棟2F (3年教室)	責任者	松下 浩司(租税教育担当) 佐藤 茂穂(授業者)
事前	・租税講話(1学期;全校・体育館) ・租税学習会(1学期;学年・体育館)	参加者	3年生の4クラスで実施する。 (159名)
当日	・4クラスすべての学級で租税について授業を行う。	協力者 (T2)	延岡税務署 ・川崎 修平氏
事後	・授業でさらに内容を押さえ、社会保障費の増大と財政問題へと結びつける。	控え室	図書準備室(打ち合わせなど)
ねらい	○税金の種類や仕組みについて理解し、税金の公平な負担について考察する。 ○専門家の立場から納税の状況など財政を支える納税者としての意識を高める。		
	指導内容と方法	活動における留意事項	
活動 (当日)	9:30 税務署員、来校 9:40 打ち合わせ 10:40 3校時 (3年3組) 11:30 11:40 4校時 (3年1組) 12:30 12:40 (来校者・昼食 [外出予定]) 13:40 13:55 5校時 (3年4組) 14:45 14:55 6校時 (3年2組) 15:45	・まず校長室で対応後、控え室へ移動する。 ・図書準備室で授業者(T1)と協力者(T2)の打ち合わせを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※1時間の授業の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身近な税について発問する。 (T1) 2. 国税と地方税、大きく分類する。 (T2) 3. 直接税と間接税の違いについての説明を行う。 (T2) 4. 所得税の累進課税についての解説を行う。 (T2) 5. なぜ、税金を納めなければいけないのかを生徒に発問する。 (T1) </div>	

	16:00 税務署員との活動内容について協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を振り返り反省を行う。 ・今後の活動内容について協議する。
役割分担	[講師対応] 校長 [記録写真] 長渡	[渉外] 松下 [茶湯接待] 事務
報道機関	(株) 宮崎日日新聞	(株) 夕刊ディリー

※ 3年の社会科担当と延岡税務署の方によるTTの授業を行った。本時の中心となる税の種類について、具体的な説明があったために生徒も理解を深めることができた。また、事前に社会科担当との打ち合わせを綿密に行ったことにより、4学級ともに生徒の意欲的な取組が見られた。

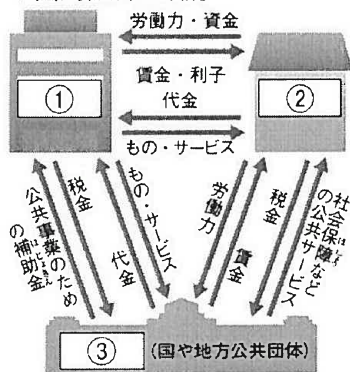
(授業に利用したワークシート)

30 私たちの生活と財政

学習課題

1) 下記の問題に答えなさい。

▼国民経済と政府

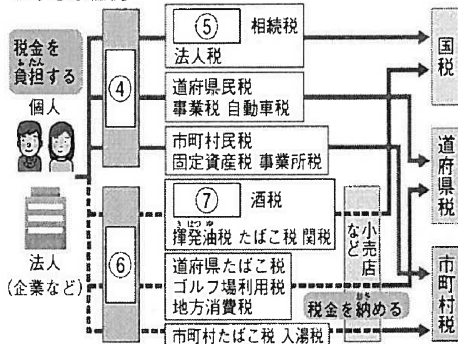


1) 政府が収入を得て、それを支出する経済活動を何というか。

2) 左記の図の①～⑦にあてはまる語句を書き込みなさい。

①	④
②	⑤
③	⑥
	⑦

▼おもな租税



3) 政府の収入・支出

政府の収入を()という。
政府の支出を()という。

4) 政府の収入をもとに作成される財政計画を何というか？

※漢字2字

5) 日本国民の三大義務とは何か？

--	--	--

まとめ 学んだ用語をもとに、本時の内容を自分の言葉でまとめなさい。

ふりかえり (確認5問テスト)

1. 国民生活を行う上で、道路整備など行政サービスのための財源として、国民が現金で納めるものを何というか？

--	--

2. 商品を購入する際に、国民平等に、店に支払う価格に課せられる間接税を何というか？

		税
--	--	---

3. 国民が働いて得た収入に対して、収入金額毎に政府に納める税金を何というか？

		税
--	--	---

4. 大金持ちほどたくさん税金を払う、というシステムで所得税が多いほど納める税金が増えることを何というか？

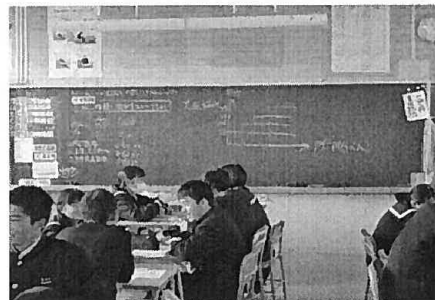
--	--	--	--

5. 居住地だけでなく自分自身が希望する地域へ納税（寄付）し、その地域の返礼品をもらいながら税金対策となる方法を何というか？

ふ	る	さ	と		
---	---	---	---	--	--

※現在、日本政府の方針として活発に実施されている。

(授業の様子)



③ 租税作品（税についての作文）

全校生徒を対象にした第1回租税教室の時間に、10分間延岡税務署の方から租税作品についての説明の時間を確保した。このことにより、専門的な話を聞いたり作品の意欲づけにもつなげることができ、生徒がどのような作品を制作していけばよいのか方向性も知ることができた。この結果、優秀な結果を残す生徒も多かった。

○ 全校で応募のあった数

1年生… 37

2年生… 46

3年生… 33

応募総数… 116

宮崎県納税貯蓄組合連合会	会長賞	宗石 春陽（1-2）
宮崎県租税推進中央協議会	銅賞	高瀬 としみ（1-4）
宮崎県租税推進中央協議会	銅賞	北住 姫菜（3-4）
延岡地区租税推進中央協議会	銅賞	神崎 里帆（3-1）
延岡地区租税推進中央協議会	銅賞	黒木 智裕（3-4）

④ 今後の取組

平成29年度は2年目を迎えるということで、今年度の実践を継続していくとともに延岡税務署との連携を図ることで、更に質を高めていきたい。また、校内の職員へ周知徹底を図ることによって、子ども（生徒）から大人（教職員）までが租税に対する興味や関心を高めるきっかけ作りをしていきたい。